



安全・安心は信頼から。
もつと身近な存在に。



いのちの恵みに感謝する県 みやざき



CM情報

TBS系 全国28局ネット「がっちりマンデー」で放映
毎週日曜日7:30~8:00 (平成18年10月~12月)

みやざきブランド推進本部
[宮崎県・JA宮崎経済連]
<http://www.miyazakibrand.jp/>

私たち宮崎県は昔から自然とともに農作業に取り組んできました。食べ物を作ることは大変な時間と労力がかかります。「いのちに感謝」はひとつひとつの農作物の歴史であり私達の歴史です。先達が積み重ねてきたココロを受け継ぎ伝えていくことも私達の仕事と考えています。この想いを皆様にも伝えたい。そういう気持ちで今日も農作業に取り組んでいます。



食に感謝する時代は、終わったのですか？

食べ物が貴重だった時代。
今日も食べることができる、今日も家族で無事に食卓を囲むことができるに感謝するとともに、食べ物に、そしていのちに感謝する気持ちを皆がごく自然に持っていました。
食べ物が目の前にあることが当たり前で、何の疑問も感じない今を生きる私たちにとって、振り返るとなにか懐かしく、うらやましい時代であったのかなと思います。

私たちは「いただきます」から食と農を考えます。

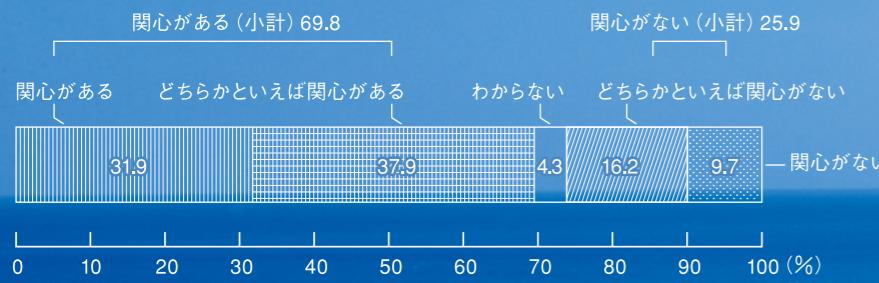
「いただきます」の意味をもう一度考えてみませんか？

「いただきます」には“あなたの命を私の命にさせていただきます”という意味や“食卓を整えるお母さん・お父さん”“作ってくれた農家の方”また“食べ物そのもの”への感謝など、人によって様々な想いが込められています。

食の安全性を懸念する声が多くなり、食への関心が高まるほど、この「いただきます」という言葉が伝えてくれる気持ちで、安全・安心な食を提供していくことの大切さがわかります。

■ 7割近くが食育に関心がある。

● 食育への関心度



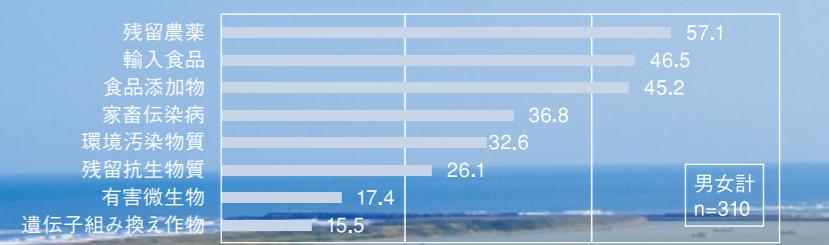
■ 消費者は食の安全性を最重要視している。

● 食品購入時における消費者の意識・関心



■ 安全性について不安に感じること1位は「残留農薬」。

● 食品の安全性について不安に感じること



生産活動の
一つひとつに責任を持ち、
食の安全確保を徹底します。



宮崎県では平成11年から、宮崎方式と
呼ばれる2時間でわかる独自の残留農薬
分析システムを導入しています。

安心して食べていただけるよう、
適切な生産情報の提供に
努めます。



毎日の生産活動の記帳運動等を通じて蓄積した生産に関する情報の公開に、しっかりとお応えします。

地球環境を守るために、
環境にやさしい資源循環型の農業を
推進します。



平成3年より土壤健全化運動（ODD運動）
を展開。農の基本である「土づくり」にこだわり続けます。

食と農の距離を
より身近にするために、みやざき
ならではの食育活動を進めます。



定期的に行われる農作物フェスタや農業体験など、「食」と「農」の距離を縮める食育活動を推進します。

■情熱みやざき 産地取り組み宣言 (2003・10・26)

顔の見える取引により、
食卓へお届けするまで、責任ある
パートナーシップを大切にします。



流通・小売関係者とのパートナーシップを
大切にし、「顔の見える」関係で食卓までお届けします。

宮崎県新富町の田園風景